



JAMS NEWS

日本経営システム学会

<http://www.jams-web.jp/>

日本経営システム学会 第69回全国研究発表大会のご案内

会員の皆様には、時下益々ご清祥こととお慶び申し上げます。さて、日本経営システム学会第69回全国研究発表大会が2022年10月1日(土)、2日(日)に開催されます。多くの会員の皆さまのご参加およびご発表を心よりお待ちしております。

記

開催日：2022年10月1日(土)、2日(日)

主催校：釧路公立大学 〒085-8585 北海道釧路市芦野4丁目1-1

交通アクセス <https://www.kushiro-pu.ac.jp/aboutus/overview/access.html>

連絡先：実行委員長 釧路公立大学 曾我 寛人 E-mail: soga@kpu.kushiro-pu.ac.jp

主催：日本経営システム学会

統一論題：「世界情勢と経営システム」

基調講演：「貿易投資相談事例にみる、コロナ禍・ウクライナ侵攻下の日本企業の国際ビジネス動向」

日本貿易振興機構(JETRO) 石川 雅啓 氏

参加費：会員 5,000 円、学生会員 3,000 円、協賛学会員・同学生会員はそれぞれ会員・学生会員と同額、非会員 6,000 円、非会員学生 4,000 円(当日支払は各 1,000 円高)

※参加人数の事前把握と受付混雑緩和のため、事前の参加申込へのご協力をお願いいたします。

懇親会費：開催いたしません。

昼食：最寄りのコンビニエンスストア、飲食店などご利用ください。

宿泊：釧路駅周辺にはホテルが多数ございますので、各自でご手配下さい。

発表申込：発表申し込みは、学会ホームページ <http://www.jams-web.jp/> の発表申込フォームから申し込みいただくか、ダウンロードした申込書に必要事項を記入の上、メール添付で学会事務局 E-Mail:keieisys@jams-web.jp へ、8月5日(金)までに送信してください。本 JAMS NEWS の発表申込書を学会事務局宛 Fax.03-3371-5185 にご送付いただいても構いません。

原稿締切：pdf および word 入稿または郵送にて、9月2日(金)まで(厳守)、学会事務局宛または第69回大会発表原稿入稿フォームからご投稿ください。

参加申込：次号 JAMS NEWS に同封の振込用紙または HP の振込方法を参考に9月21日(水)までに上記金額をお振込み下さい。期限後に振込みされた方は、振込控えまたはコピーをお持ち下さい。

■会場設備について

全ての発表会場に PC(Windows, MS-Office)とプロジェクタが設置されています。原則として会場の設備をご利用下さい。データは USB メモリーに入れてお持ち下さい。ノート PC をお持ち込みいただくことも可能ですが、教室ごとに接続ケーブル(VGA, HDMI)が異なり、変換アダプタの数にも限りがありますので、極力備え付けの PC をお使いいただきますよう、よろしくお願いいたします。

■研究発表に関する細則について

当学会では、研究発表大会をスムーズに運営するために、口頭発表に関して「研究発表細則」(学会ホームページ <http://www.jams-web.jp/download/jams-kenkyuuhappyou.pdf>) に従って運営しています。口頭発表を申し込まれる前にご確認ください。なお、この細則は、大会委員会および大会実行委員会により運用されます。不明な点がございましたら、学会事務局へお問い合わせください。

■大会会場へのアクセス

- 釧路空港からJR 釧路駅まで（バス）：阿寒バスの釧路空港連絡バスで「釧路駅前」（駅前バスターミナル）まで、所要時間 45 分、料金 950 円
- JR 釧路駅から釧路公立大学（バス）：
くしろバス美原線 65 番で、「釧路公立大学前」まで、所要時間：16 分、料金 340 円
くしろバス文苑公住線 12 番で、「釧路公立大学前」まで、所要時間：16 から 19 分、料金 340 円
くしろバス美原線 63 番で、「芦野公園前」まで、所要時間：18 分、料金 310 円
- JR 釧路駅から釧路公立大学（タクシー）：所要時間：15 分、料金 1,500 円程度

■学生研究発表優秀賞について

当学会では、学生セッションの研究発表を審査して優秀な発表には「学生研究発表優秀賞」を授与しています。学生であれば、正会員・学生会員を問わず、学生セッションの研究発表は審査の対象となります。ただし、下記の点にご留意下さい。

- ・学生セッションの発表は、正会員との連名とし、ファースト・オーサーは学生とします。
- ・学生セッションでの単独発表は、正会員の学生に限ります。
- ・学生研究発表優秀賞の受賞対象者は、単独発表、連名発表のファースト・オーサーの学生のみとします。
- ・学生セッションの発表原稿は、会員の種別を問わず 2 頁とします。

第 68 回全国研究発表大会の報告

大会実行委員長 千葉商科大学 櫻井 聡
大会副委員長 千葉商科大学 仲野 友樹

第 68 回全国研究発表大会は、第 67 回大会に続き Zoom によるオンライン開催となりました。開催日は 5 月 21 日（土）、22 日（日）の二日間で、Zoom の運営は主催校千葉商科大学 市川キャンパスで行いました。

統一論題は「SDGs と経営システム」とし、41 件の研究発表（統一論題 2 件、一般研究部会 3 件、一般 19 件、学生 17 件）がありました。研究発表では各発表会場（Zoom ルーム）には多くの会員が参加され、Zoom 上での活発な議論が行われました。

会長の椎原先生をはじめ理事の先生方、大会実行委員の先生方、発表者・司会者の皆様、多くの会員の皆様の多大なご協力を賜り、トラブルなく開催することができ、深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

2021 年 学会賞・論文奨励賞について

表彰委員長 川中 孝章

標記の賞につき、学会賞・論文奨励賞選考ワーキンググループにおいて、厳正に受賞候補者を選考いたしました。その後、理事会の審議を経て、下記 3 名が 2021 年学会賞、及び論文奨励賞の受賞者に決定し、表彰されましたので報告いたします。

【学会賞】

受賞者：赤城 弘一（三菱パワー株式会社）、澤口 学（立命館大学）

対象業績：赤城弘一、澤口学，“作業プロセス情報の形式知化の研究—大型ガスタービンの主要な製造による検証—”，日本経営システム学会誌，Vol.37，No.3，pp.175-185（2021）

受賞理由：当該論文は、近年、現場力の再構築が求められている中で、現場の作業プロセス情報を暗黙知から形式知に変え、また形式知を体系化して蓄積することにより、製造現場の属人的な知見をデジタル化、体系化、知識資産化する方法を提案している。高齢化に伴い退職する技術者の知識を若手に伝承することは、今日の日本企業の課題であり、当該論文は、それに対して、組織的知識創造のSECIモデルをベースに、IE、QC、VEを切り口として形式知化する項目を決定し、暗黙知から形式知への変換を行い、さらに、作業

プロセスの属人化度を可視化することにより、製造現場における提案手法の効果を実証データにより検証している。SECIモデルの研究は、日本発の経営理論として、よく知られた研究であるが、しっかりとした実証研究は、十分とはいえない。本研究は、作業プロセス情報を暗黙知から形式知に転換する方法を具体的に提案している点に独自性がある。また、変換した形式知を用いるとSECIモデルのスパイラルアップに貢献することを明らかにしている点で理論的な貢献も大きい。著者らは、当該論文を出発点として、AI、拡張現実などを活用した、暗黙知と形式知の相互変換に関する実証研究にも取り組んでおり、その成果も既に公表されている。理論的貢献に加えて、製造現場の要請にも十分に応えられる研究成果であり、その学術性、実用性、発展性は高く評価できる。

以上のことから、日本経営システム学会「学会賞」にふさわしい研究論文であると判断する。

【論文奨励賞】

受賞者：丸山 博之（早稲田大学）

対象業績：丸山博之，” 一対多マッチング問題における弱耐戦略性の十分条件” ,日本経営システム学会誌,Vol.38,No.1,pp.21-28(2021)

受賞理由：当該論文は、一対多マッチング問題に対して、弱耐戦略性の必要条件ならびに十分条件に関する定理を導き、その性質を明らかにすることを目的としており、プレイヤーが持つ情報を虚偽申告しないというある種の望ましさを保証する条件、およびそのような事象が起こる理由を明らかにしている。当該研究の独自性としては、第1にDA (Deferred Acceptance) を使用することで、安定性を満たすことを前提として、一対多マッチング問題における弱耐戦略性の性質を明確化している点、第2にNDC (No Detour Condition) と弱耐戦略性の間には深い関係がある一方で、弱耐戦略性の必要条件を求めるためには、追加の条件が必要になることを示している点が挙げられる。さらに、これまで未解明であった一対多マッチング問題における耐戦略性の必要条件に関して、先行研究で解明されている一対一マッチング問題を基礎として、その必要条件を明らかにしており、この点も高く評価できる。マッチング問題は、職場における人員配置や、サプライチェーンにおけるサプライヤー・卸・小売りの配分にも適用できる応用範囲の広いテーマであり、当該研究の成果は、企業戦略や社会的制度設計にも応用可能で、実用性があるとともに、今後の更なる発展が期待でき奨励に値すると認められる。

以上のことから、日本経営システム学会「論文奨励賞」にふさわしい研究論文であると判断する。

学生研究発表優秀賞について

表彰委員長 川中 孝章

第 68 回全国研究発表大会（主催校：千葉商科大学 市川キャンパス）終了後、表彰委員会において、厳正かつ慎重に受賞候補者を選考いたしました。その後、理事会の審議を経て下記 4 名が学生研究発表優秀賞の受賞者に決定しましたので報告いたします。

「EUVL 装置製造企業 ASML のオープンイノベーションの特徴研究」 呉 東鍵（立命館大学）

「SEM による早期離職の影響要因の構造分析 — 「入社 3 年の壁」に着目して—

赤塚 アロンソ（早稲田大学）

「投資先への共感を考慮した株式型 CF の投資意思決定要因の分析 — 共分散構造分析に基づいて—

畠中 優樹（早稲田大学）

「ローデータを利用した不正会計検知モデルの構築」

佐藤 夏輝（神奈川大学）

2021 年度第 4 回理事会のまとめ

I. 開催日時：2021 年 3 月 26 日(土) 11:00~12:45

II. 開催場所：Zoom 形式

III. 出席者：椎原正次、金子勝一、毛利進太郎、石田修一、上西啓介、川中孝章、佐々木桐子、鄭 年皓、田畑智章、長野寛之、林 誠、終 紫乃、三森八重子、柳田義継、稲永健太郎、奥井秀樹、近藤高司、佐藤 修、島田裕次、谷崎隆士、東海詩帆、中井秀樹、永松陽明、成川忠之、堀江育也、水上祐治、

村山 誠、藪内賢之 監事) 松丸正延 記録者：中井秀樹 (敬称略)

理事会を始める前に、元会長石井博昭先生のご逝去に哀悼の意を示し、1分間の黙とうが行われた。

IV. 審議事項

1. 2021 年度第 3 回議事録の確認(柳田)：特に異議なく承認された。
2. 会員の入退会について(柳田)：特に異議なく承認された。
3. 第 68 回全国研究発表大会の準備状況について(佐々木、永松)：特に異議なく承認された。
4. 第 69 回全国研究発表大会について(永松)：特に異議なく承認された。第 68 回大会および第 69 回大会の開催について審議する事項が発生した場合は、電子メールによる審議が承認された。
5. 2021 年「学会賞」「論文奨励賞」について(川中)：推薦文の一部について誤解をなくすように訂正したうえで、異議なく承認された。学会賞・論文奨励賞専攻 WG のメンバーに謝意が述べられた。
6. 渉外委員会内規の改正について(鄭)：一部について表現の修正を行った。規定委員会による体裁などの調整を経て会長が確認後に確定することにした。内規の運用については、本日付けとすることが確認された。
7. 学会名簿情報の更新について(柘)：調査方法として提示された 2 案が提示された。事務局の負荷と業務の正確性を期して案②が採択されることになった。
8. 理事・評議員の追加について(椎原)：特に異議なく理事 1 名、評議員の 2 名の就任が本日付で承認された。本人の意思確認をしたうえで確定する。
9. その他：
①田畑財務委員長より、繰越金が多額になっていることが述べられた。そこで、ワーキンググループを設置して適正に対応するための議論をする旨の提案があり、特に異議なく承認された。ワーキンググループのメンバー募集がなされ、人選は財務委員長と会長に一任された。

V. 報告事項

1. 総会資料の作成依頼(柳田)：各支部や研究会への資料作成を依頼しており、3月25日締め切りとなっていた。未提出の支部や研究会への提出があらためて依頼された。あわせて、理事会資料が整った時点で、理事へメールで送信し、次回の理事会前に確認することが確認された。
2. IJAMS の論文掲載状況について(石田)：査読状況が報告された。
3. 第 67 回全国研究発表大会「学生研究発表優秀賞」について(川中)：会長より審査関係者への謝意が述べられ、理事会審議については今後も迅速な対応が依頼された。
4. 名誉会員のご逝去について(椎原)：元会長の石井博昭先生のご逝去が報告された。
5. 理事会議事録について(椎原)：JAMS NEWS に掲載される理事会のまとめは議事録の要約であることが確認された。記述の簡潔さや個人情報などに配慮して編集されることが了承された。
6. 他学会への協賛について(鄭)：資料の通り報告された。
7. 40 周年記念論文について(金子)：当初予定よりも発行が遅れているが、今年度内の発行予定であることが報告された。
8. その他：
①椎原会長より今後も遠隔会議が続くことが予想されるので、2022 年 4 月頃から Zoom のライセンス契約を進めることが報告され了承された。

ニューノーマル研究部会 (ビジネスモデル分科会) のお知らせ

ニューノーマル研究部会 2022 年度第 4 回会合 (通算第 10 回) (ビジネスモデル分科会)

開催日時：2022 年 7 月 16 日 (土) 14:00~

開催場所：ZOOM によるオンライン会議形式

講演タイトル及び講師：

「海外子会社における不正会計事例の分析 ～グループガバナンス及び内部統制の視点から～」

石島 隆先生 (法政大学大学院イノベーション・マネジメント研究科教授)

参加方法：以下の URL から出席可否の登録をお願いしております。

<https://forms.gle/VUNzYcQnTrjKFxk6A>

参加登録者には後ほど ZOOM 招待状をお送りします。

※ご不明な点がございましたらご連絡ください。

連絡先 (幹事)：三森八重子・大阪大学招聘教授 dt4y-mtmr@asahi-net.or.jp

ヒューマンリソース（HR）研究部会のお知らせ

開催日時：2022年8月6日（土） 15:00-17:00

開催場所：ZOOMによるオンライン会議形式

発表予定者：調整中

連絡先（幹事）：金子勝一（山梨学院大学） Tel.055-224-1337 E-mail:kaneko.shoichi@c2c.ac.jp

経営モデル研究部会のお知らせ

開催日時：2022年9月3日（土） 15:00-17:00

開催場所：ZOOMによるオンライン会議形式

発表予定者：調整中

連絡先：田畑 智章（東海大学） TEL.03-3441-1171（代表）/E-Mail:tabata@tokai-u.jp

〃：金子 勝一（山梨学院大学） TEL.055-224-1337/E-Mail:kaneko.shoichi@c2c.ac.jp

東海ファジィ研究会（ガマ研）のお知らせ

タイトル：第52回東海ファジィ研究会（ガマ研2022）開催案内

主催：日本知能情報ファジィ学会東海支部

共催：日本経営システム学会中部支部

開催期間：2022年8月18日（木）～19日（金） *宿泊される場合は各自で確保をお願いします。

会場：蒲郡商工会議所 203・204 会議室（〒443-8505 愛知県蒲郡市港町 18- 23）

*オンライン開催となる場合には、8月8日（月）までに参加者全員にご連絡いたします。

招待講演：古橋 武 先生

題目：オンデマンド講義用ビデオ作成のためのノート読み上げソフト（英語用&日本語用）との格闘（仮）

参加費：1000 円

発表形式：現地での口頭発表

申込〆切：2022年8月5日（金）

申込方法：<http://tokai.j-soft.org/tokai.html>にて発表および参加申し込みが可能です。

ファジィシステムシンポジウム（FSS2022）のお知らせ

主催：日本知能情報ファジィ学会（SOFT）

共催：国際ファジィシステム学会（IFSA）

協賛（予定）：計測自動制御学会，社会・経済システム学会，人工知能学会，日本機械学会，システム制御情報学会，情報処理学会，土木学会，日本応用数理学会，日本経営工学会，日本原子力学会，日本数学会，日本生体医工学会，日本生物工学会，日本デザイン学会，日本人間工学会，化学工学会，電気学会，電子情報通信学会，日本医療情報学会，日本オペレーションズ・リサーチ学会，日本顔学会，日本感性工学会，日本教育工学会，日本経営システム学会，日本計算工学会，日本行動計量学会，日本心理学会，日本繊維製品消費科学会，日本バーチャルリアリティ学会，バイオメディカル・ファジィ・システム学会，ヒューマンインタフェース学会，日本神経回路学会，進化計算学会，農業農村工学会，農業食料工学会，農業情報学会，農業施設学会，ファジィシステム研究所，株式会社アールティ

会場：東京都立産業技術大学院大学／東京都立産業技術高等専門学校 品川キャンパス

会期：2022年9月14日（水），15日（木），16日（金） 懇親会：2022年9月15日（木）夕刻

テーマ：ファジィで一つになろう

スケジュール（予定）：2022年7月8日（金）：講演原稿締切、2022年8月5日（金）：事前参加申込締切

FSS2022: <http://fss.j-soft.org/2022/>

日本経営システム学会 研究発表申込書

2022年度 第69回全国研究発表大会

発表種類 (研究、部会) (発表種類のいずれかを○でお囲み下さい)

発表セッション区分 (一般セッション、学生セッション) (区分のいずれかを○でお囲み下さい)

口頭発表者会員種別 (正会員、学生会員) (会員種別のいずれかを○でお囲み下さい)

会員連絡先

会 員 名			
所 属			
住所 (勤務先・自宅)	〒		
連 絡 先	TEL	FAX	E-mail

論題および発表者

論 題		
ふりがな 発表者氏名 (所属)	1. ()	2. ()
当日の口頭発表者には*を付す	3. ()	4. ()
研 究 部 会 名 (研究部会発表の場合)		代表者名: ()

発表要旨 (200字以内・ワープロプリント貼付可)

キーワード (必ず記入)					

注: 1) 大会プログラムは、この申込書のキーワードおよび発表要旨により編成いたします。

2) プログラム、論文集目次の論題および口頭発表者・連絡者は申込書の記載どおりに掲載いたしますので、明確に楷書にてご記入下さい。(ワープロプリント貼付可)

3) 論文集原稿締切日までに間に合わない場合は、プログラムに掲載され、発表時間も確保されておりますが発表取り消しとしますので、ご了承ください



日本経営システム学会

住所 〒169-0073 東京都新宿区百人町 1-20-3 パラードハイム 703
 TEL03-3371-5324・FAX03-3371-5185
 E-Mail: keieisys@jams-web.jp